ご使用前の確認

各部の名称と機能

①、②…は「各種キーの機能」をご覧ください。☛P25

1 赤外線ポート☛P307
赤外線でデータをやりとりします。

2 受話口
相手の声がここから聞こえます。

3 照度センサー
周囲の明るさに合わせて、ディスプレイの明るさを自動的に切り替えたり、キーの照明を点灯／消灯できます。☛P114、P263

4 ディスプレイ☛P26

5 外部接続端子☛P39、P302
各種オプション品などを接続します。

6 送話口／マイク
自分の声を伝えます。

7 FeliCaマーク
ICカードが搭載されていることを示しています。FeliCaマークを読み取り機にかざしてICカード機能を利用します。また、FeliCaマークを重ね合わせてiC通信を行えます。ICカードは取り外せません。

8 スピーカー
着信音やワンセグの音声、スピーカーホン機能がONのときに相手の声などがここから聞こえます。

9 FOMAアンテナ
アンテナが内蔵されています。よりよい条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

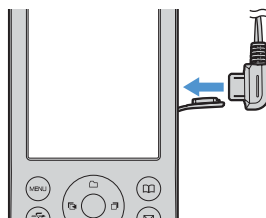
10 ストラップ取付口

11 リアカバー

12 カメラランプ
カメラ撮影時に点灯／点滅します。

13 カメラ☛P70、P144
人や風景などを撮影したり、テレビ電話で人や風景などの映像を送信します。

14 TVアンテナ☛P255

15 イヤホンマイク端子
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続します。

- イヤホンジャック変換アダプタP001（別売）を使うと、従来のイヤホンマイクを使えます。

16 接写切替スイッチ☛P153
カメラ撮影時、通常撮影と接写撮影を切り替えます。

17 microSDメモリーカードスロット☛P294

18 充電端子
卓上ホルダ（別売）を使用して充電するときの端子です。

各種キーの機能

キーを押してできる主な操作には以下があります。
（●：短く押したとき　■：1秒以上押したとき）

① スピードメニュー／テレビ電話開始／スクロール／左下ソフトキー
- ● スピードメニューの表示
- ● テレビ電話をかける／受ける
- ● メールやサイト画面の1画面スクロール
- ● 文字入力時の大文字／小文字切り替え
- ● ガイド行左下に表示される操作の実行
- ■ スピードメニューの表示（音声で呼び出す場合）

② Menu／左上ソフト／マナーモードキー
- ● メニューの表示
- ● ガイド行左上に表示される操作の実行
- ■ マナーモードの設定／解除

③ イージーセレクタープラス

決定キー
- ● 操作の実行　● フォーカスモードの実行
- ■ ワンタッチ登録したｉアプリ起動

データBOX／↑キー
- ● データBOXメニューの表示　● 音量の調整
- ● カーソルの上方向への移動
- ■ 静止画撮影の起動

ｉモード／ｉアプリ／↓キー
- ● ｉモードメニューの表示　● 音量の調整
- ● カーソルの下方向への移動
- ■ ｉアプリフォルダ一覧の表示

着信履歴／←（前へ）キー
- ● 着信履歴の表示　● 画面の切り替え
- ● カーソルの左方向への移動
- ■ プライバシーモード設定中にプライバシーモードの起動／解除

リダイヤル／→（次へ）キー
- ● リダイヤルの表示　● 画面の切り替え
- ● カーソルの右方向への移動
- ■ ICカードロックの設定／解除

④ 電話帳／スケジュール／右上ソフトキー
- ● 電話帳の表示
- ● ガイド行右上に表示される操作の実行
- ■ スケジュールの表示

⑤ メール／スクロール／右下ソフトキー
- ● メールメニューの表示
- ● メールやサイト画面の1画面スクロール
- ● ガイド行右下に表示される操作の実行
- ■ ｉモード問合せ

⑥ 電源／終了キー
- ● 通話／操作中の機能の終了
- ● 応答保留
- ● シークレットモードの解除
- ● カスタム待受画面の表示／非表示の切り替え
- ■ 電源を入れる／切る（2秒以上押す）

⑦ クリア ｉチャネル／クリアキー
- ● チャネル一覧の表示
- ● ｉアプリ待受画面のｉアプリ起動
- ● 文字の消去　● 1つ前の画面に戻る
- ■ セルフモードの設定／解除

⑧ 音声電話開始／スピーカーホン／文字キー
- ● 音声電話をかける／受ける
- ● スピーカーホン機能の切り替え
- ● 文字入力時の入力モード切り替え
- ● ワンセグ視聴時の消音
- ■ ワンセグ視聴時の音声モード切り替え

⑨ ダイヤルキー

0～9
- ● 電話番号や文字の入力　● メニュー項目の実行
- ■「+」の入力（電話番号入力時：0）

＊ ＊／公共モード（ドライブモード）キー
- ●「＊」の入力
- ■ 公共モード（ドライブモード）の設定／解除
- ■「P」の入力（電話番号入力時）

#／マナーモード／改行キー
- ●「#」の入力
- ● 文字入力時の改行
- ■ マナーモードの設定／解除
- ■「T」の入力（電話番号入力時）

⑩ プロテクトキー ☛P136
- ■ プロテクトキーロックの設定／解除

⑪ TASKキー
- ● マルチアクセス・マルチタスクの操作

⑫ TV TV／伝言メモ／シャッターキー
- ● 伝言メモ／音声メモメニューの表示
- ● カメラの撮影　● 着信音／アラーム音の停止
- ● ワンセグ視聴時の静止画録画
- ■ ワンセグ視聴の開始
- ■ ワンセグ視聴時の横画面拡大表示ON／OFF
- ■ クイック伝言メモの開始
- ■ メール表示画面の通常表示／オンリービュー表示の切り替え

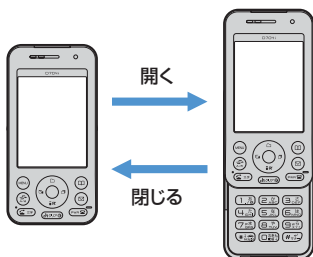
決定キーの照明について

③のは電話着信時やメール受信時、FOMA端末開閉時、カメラ撮影時などに点灯／点滅します。点灯パターン、照明の色を設定できます（☛P121）。また、新着情報があるときに点滅します（☛P122）。充電中は赤く点灯します。☛P38

おしらせ

- ⑨は本体の色によってキーの文字の書体が異なります（4、4）。

FOMA端末を開く／閉じる

FOMA端末を開くときは、前面部（ディスプレイが付いている部分）を上にスライドさせてください。閉じるときは、逆方向にスライドさせてください。

- FOMA端末を開くことで、メールの返信やスケジュール、メモ帳編集画面の表示などが簡単にできます。☛P333
- メール受信結果表示中または受信結果テロップ表示中にFOMA端末を開くと新着メールを表示するように設定できます。☛P216
- FOMA端末を閉じたまま通話できます。また、FOMA端末を開いて電話に出たり、FOMA端末を閉じて通話を終了、保留したりできます。☛P61

ディスプレイの見かた

ここではディスプレイの上部、下部に表示されるマーク（アイコン）の説明をします。

❶ ：電池アイコン☛P39
❷ ：アンテナアイコン☛P40
圏外：圏外表示☛P40
self：セルフモード中☛P132
：データ転送モード中☛P291、P307
ドコモケータイdatalink使用中☛P378
❸ ：iモード中（iモード接続中）☛P162
：iモード中(パケット通信中)☛P176、P199
❹ ：赤外線通信中☛P307
※1 赤外線リモコン使用中☛P311
：プロテクトキーロック中（一時解除中はグレー）☛P136
：積算通話料金が上限を超過☛P349
❺ ：スピーカーホン機能ON☛P47
※1 ：ハンズフリー対応機器接続中☛P57
❻ ：センターにiモードメールとメッセージR/F満杯※2☛P200、P176
※1

／／
：センターにiモードメールまたはメッセージR/F満杯
：センターに未受信のiモードメールとメッセージR/Fあり
／／
：センターに未受信のiモードメールまたはメッセージR/Fあり

❼ 未読メール、メッセージR/F状態表示
※1 ☛P199、P223、P176
：未読iモードメール、SMS満杯でFOMAカードにSMS満杯
：未読iモードメール、SMS満杯
：FOMAカードにSMS満杯
：未読iモードメールとSMSあり
：未読iモードメールあり
：未読SMSあり
R／R（青／赤）：未読メッセージRあり／満杯※3
F／F（緑／赤）：未読メッセージFあり／満杯※3

❽ iアプリ／iアプリDX状態表示
☛P109、P231、P239
：iアプリ動作中
：iアプリ待受画面表示中
：iアプリ待受画面からiアプリ起動中
：iアプリDX動作中
：iアプリDX待受画面表示中
：iアプリDX待受画面からiアプリ起動中

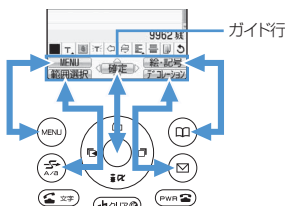
⑨ ※1 ：SSLページ表示中およびSSLページからダウンロードしたｉアプリを使用中またはｉアプリでSSL通信中☛P163
SSL/TLSページ表示中☛P266
：圏内自動送信失敗メールあり☛P198
：圏内自動送信メールあり☛P198
⑩ ：シークレットモード中☛P138
⑪ ：ｉアプリ自動起動失敗☛P238
⑫ OFFICEED：OFFICEEDエリア内☛P374
⑬ ：フォーカスモードアイコン☛P32
⑭ ：通常マナーモード中☛P105
：オリジナルマナーモード中☛P105
⑮ ：電話着信音量消音設定中☛P102
：音声電話着信のバイブレータ設定中☛P103
：電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中
⑯ ：公共モード（ドライブモード）中☛P64
⑰ ：伝言メモ設定中☛P66
：伝言メモ満杯☛P66
⑱ ：PIMロック中☛P132
⑲ ：FOMA USB接続ケーブル（別売）で外部機器に接続中☛P76、P302

⑳ ／
：フォーカスモード時のイージーセレクタープラスの有効キーの表示☛P32
㉑ USBモード設定とmicroSDメモリーカードの状態表示☛P301
：通信モードでmicroSDメモリーカードあり
／（紺／グレー）
：microSDモードでmicroSDメモリーカードあり／なし
／（紺／グレー）
：MTPモードでmicroSDメモリーカードあり／なし
㉒ ：FOMAカード読み込み中☛P40
※1 ：ICカードロック中☛P250
㉓ ：ダイヤル発信制限中☛P133
㉔ ：目覚まし設定中☛P334
：スケジュールアラーム設定中☛P260、P338
：目覚ましとスケジュールアラームを同時に設定中
㉕ ：ソフトウェア更新予約中☛P422
※1 ／（成功／失敗）
：最新パターンデータの自動更新結果☛P424

※１：現在優先度の高いものが１つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※２：ｉモードメール、メッセージR/Fのうち１種類が満杯で、その他に未受信のメール／メッセージがある場合にも表示されます。
※３：未読のｉモードメールやSMSありなどのアイコンの上部に重なって表示されます。

ガイド行の見かた

ガイド行には、MENU、、、、を押して実行できる操作が表示されます。

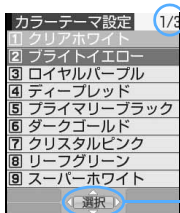
例 メール本文の入力画面のガイド行のとき

表示位置とキーは、図のように対応しています。本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するキー（MENU）を使って説明しています。
ガイド行に表示される操作は画面により異なります。
- ガイド行のは、イージーセレクタープラスのに対応しています（使用する機能やサイトやインターネットホームページの作りかたによっては異なる場合があります）。

タスクバーの見かた

タスクバーには、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが最大9個表示されます。現在、動作中の機能を確認できます。また、メール／メッセージ受信時には受信結果テロップが表示されます。

タスクバー

：音声電話
：テレビ電話
：音声電話／テレビ電話切替中
：電話終了中
：マルチタスクで音量設定中
：電話帳
：着信履歴
：リダイヤル
：伝言メモ・音声メモ
：自局番号
：メール
：ｉ モードメール／メッセージR/F受信中
：SMS受信中
：チャットメール
：メッセージR/F
：メール送信履歴
：メール受信履歴
：ｉモード／SMS問合せ中
：ｉモード／ｉチャネル
：ｉモードのBookmark／Internet／画面メモ／ツータッチサイト
：ｉアプリ
：トルカ
：フルブラウザ
：マイピクチャ
：ｉモーション
：メロディ
：マイドキュメント（PDF対応ビューア）
：その他（ドキュメントビューア）
：キャラ電
：マチキャラ
：きせかえツール
：静止画撮影
：動画撮影
：サウンドレコーダー
：バーコードリーダー
：ミュージックプレイヤー
：ワンセグ視聴中
：お知らせタイマー
：目覚まし設定中／鳴動中
：スケジュール帳／視聴予約スケジュール
：スケジュール音鳴動中
：メモ帳
：電卓
：辞典
：外部機器によるテレビ電話
：外部データ連携中
／（紺／グレー）
：microSDメモリーカードへアクセス中／アクセス待機中
：64Kデータ通信
／
：USB 経由でパケット発信・通信中／送受信中
／（紺／グレー）
：各機能の設定中／保留中
：ソフトウェア更新中
：ソフトウェア更新の通知あり
：パターンデータ更新中／バージョン表示中
：各種ネットワークサービス設定中
：お預かりセンターに接続中
：電話帳通信履歴表示中

一覧画面の見かた

❶ 現在表示中のページ番号と総ページ数（一覧が複数ページにわたる場合）

❷ ▵▿：選ばれている項目の上下に選択項目があることを示しています。
- でカーソルを移動します。
- ページの最後の項目でを押すと次ページ、ページの先頭の項目でを押すと前ページが表示されます。

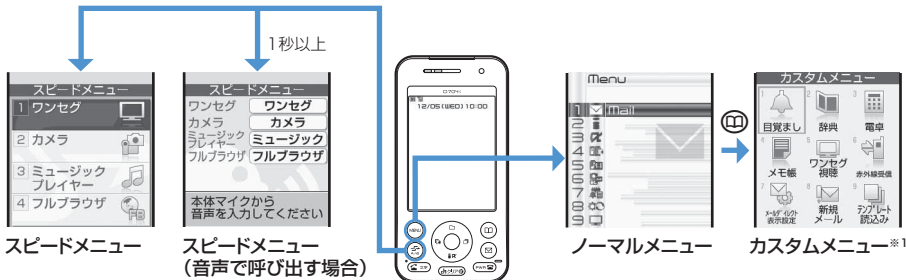
◃▹：選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。
- でページを切り替えます。
  ・アイコンの選択画面などでは切り替わりません。

おしらせ

● 次の現象は液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- しばらく同じ画面を表示していると、何か操作をし、画面表示が切り替わったときに、前の画面表示の残像がディスプレイに残る場合があります。

メニューの選択方法

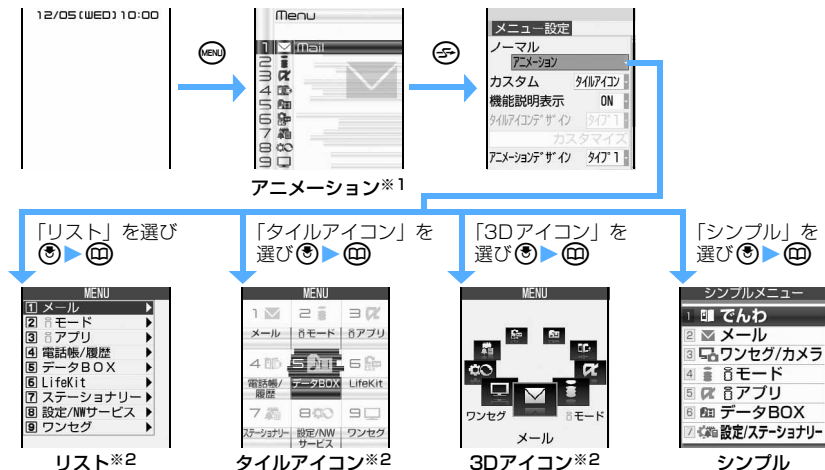
メニューには大きく分けてノーマルメニュー、カスタムメニュー、スピードメニューがあります。ノーマルメニューは MENU を押すと表示される標準的なメニューです。また、カスタムメニューはメニュー項目を自由に設定できるメニューです。
スピードメニューは を押すと表示でき、特長ある機能がすばやく呼び出せます。

スピードメニュー　スピードメニュー（音声で呼び出す場合）　ノーマルメニュー　カスタムメニュー※1

※１：メニュー設定の「起動メニュー」の設定によって、MENU を押してカスタムメニューを表示するようにもできます。☛P115

メニューの表示形式

ノーマルメニューとカスタムメニューは表示形式を選べます。
ノーマルメニューの表示形式のひとつに、よく使う機能だけに限定したシンプルメニューがあります。

例 ノーマルメニューの表示形式を変更するとき

リスト※2　タイルアイコン※2　3Dアイコン※2　シンプル

※１：画面はトータルコーディネイト設定が「クリアライン」のノーマルメニューの表示例です。お買い上げ時は、ノーマルメニューの「アニメーション」に設定されています。
※２：カスタムメニューでも設定できます（メニュー設定☛P115）。

メニューから機能を選択する

ダイヤルキーでメニューを選択する方法（ショートカット操作）と、イージーセレクタープラスでメニュー項目を選択する方法があります。

- 本書では、主にノーマルメニュー（シンプルメニューを除く）のショートカット操作で説明しています。
- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示されたり文字が薄く表示されます。ただし、メニューの表示形式が「アニメーション」のときは、項目を選択するとメッセージが表示されます。

ダイヤルキーでメニューを選択する（ショートカット操作）

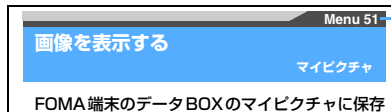
メニュー項目にはそれぞれ番号（項目番号）が割り当てられており、対応するダイヤルキーで選択できます。3D アイコンの項目番号はタイルアイコンやリストメニュー、アニメーション表示に切り替えて確認してください。

例　ノーマルメニュー（シンプルメニューを除く）の場合に「電話帳登録」を実行するとき

1 MENU 4 2

複数のショートカット操作がある場合

ノーマルメニュー（シンプルメニューを除く）のショートカット操作が複数ある場合、操作手順で記載している以外のショートカット操作を本文中のタイトル右端に記載しています。

例　データBOXの「マイピクチャ」フォルダを表示するとき

MENUでメニューを表示した後 5 1 の順に押すと、データBOXの「マイピクチャ」フォルダが表示されることを示します。
- ✉は✉、⬇は○を押すことを示します。

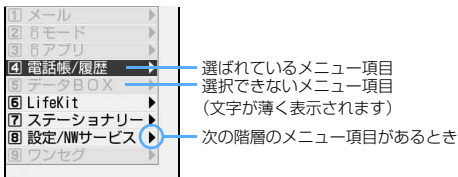
イージーセレクタープラスでメニューを選択する

例　ノーマルメニュー（アニメーション表示の「タイプ1」）の場合に「電話帳登録」を実行するとき

1 MENU ▶「Phonebook&Logs」を選び●

「Phonebook&Logs」が選ばれているとき

- 1つ前の画面に戻す：クリア
- 待受画面に戻す：☎
- アニメーション表示以外のときにメニュー項目を選ぶと、機能説明が表示されます。
- アニメーション表示の場合、ガイド行の◇は表示されません。

2 「電話帳登録」を選び◉

■ リスト表示での選択方法

メニュー項目を選び、◉または◎を押します。

- 1つ前の階層のメニューに戻す：◎または クリア

■ タイルアイコン表示での選択方法

メニュー項目を選び、◉を押します。

- 1つ前のメニューに戻す：クリア

■ 3Dアイコン表示での選択方法

目的のアイコンを最前面に移動させ、◉を押します。

- ◎で奥のアイコンが最前面に移動します。

メニューの説明が見たいとき（機能説明表示）

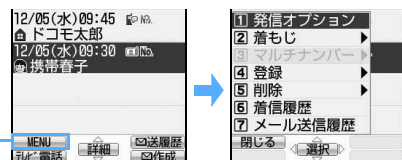
アニメーション表示以外のとき、メニュー項目を選びしばらくすると、機能説明が表示されます。

- 機能説明はしばらく表示されたあとに消えます。
- 機能説明を表示しないように設定できます。☛P115

サブメニューから機能を選択する

ガイド行の左上に「MENU」が表示される場合、サブメニューを使って、さまざまな操作ができます。

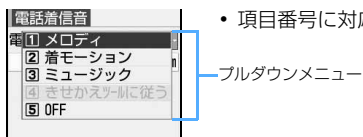
例 リダイヤルのサブメニューを表示するとき

1 リダイヤル一覧でMENU▶サブメニュー項目を選び◉または◎

サブメニューがあることを示します。

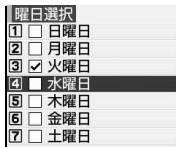
- サブメニューの操作方法は、リスト表示と同じです。
- サブメニューを閉じる：MENU

項目を設定する

プルダウンメニューから項目を選択する

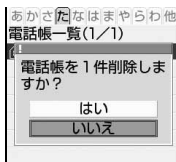
1 項目を選び◉でプルダウンメニューを表示▶◎で項目を選び◉

- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。

チェックボックスで項目を選択する

1 チェックボックスを選び◉

チェックボックスが□から☑に変わり、選択されます。

- 選択されている項目の場合は☑から□に変わり、選択が解除されます。
- 機能によっては、MENUを押すとすべての項目を選択または解除できます。
- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。

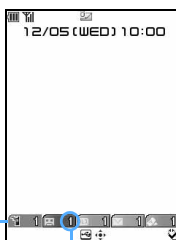
確認画面で「はい／いいえ」を選択する

1 「はい」または「いいえ」を選び◉

- 機能によっては「はい／いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

情報をすばやく表示する　フォーカスモード

待受画面に［不在着信 1］や［伝言メモ 1］などのアイコンが表示されたときに、対応する情報をすばやく表示できます。

1 ◉▶［不在着信 1］や［伝言メモ 1］などのアイコンを選び◉

選択したアイコンに対応する画面が表示されます。

右の数字は、蓄積されている情報の件数

フォーカスモード中は選ばれているアイコンの色が変わります。

［不在着信 1］不在着信あり：
着信履歴一覧が表示され、着信日時や電話をかけてきた相手の情報などを確認できます。

［伝言メモ 1］未再生の伝言メモあり：
伝言メモ一覧が表示され、伝言メモを再生できます。

［留守番電話 1］留守番電話サービスの伝言メッセージあり：
留守番電話サービスのメッセージ再生確認画面が表示され、メッセージを再生できます。

［メール 1］未読の受信メールあり：
受信メールのフォルダ一覧が表示され、未読メールを表示できます。

［トルカ 1］未読のトルカあり：
トルカ一覧が表示され、未読のトルカを確認できます。

- フォーカスモードを解除する：CLRまたは終話キー
- 以下のアイコンが表示されたときも同様に操作できます。
  ［成功］／［失敗］：最新パターンデータの自動更新の結果あり（成功／失敗）☞P424
  ［USB］：FOMA USB接続ケーブル（別売）で外部機器に接続中☞P302

おしらせ

● アイコンを選び、CLRを1秒以上押すと、アイコンは一時的に消去されますが、新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再度表示されます。ただし、留守番電話サービスの伝言メッセージのアイコンの場合は、表示を消去するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとアイコンが一時的に消去されます。

FOMAカードを使う

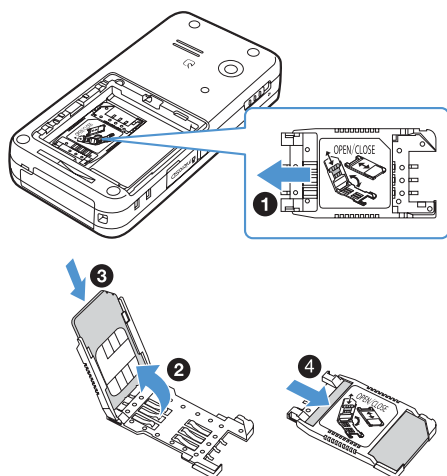
FOMA カードとは、電話番号などのお客様情報が記録されるカードです。FOMA 端末に挿入して使用します。

- FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

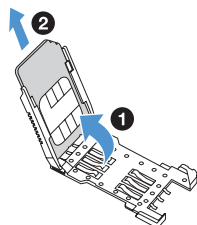
FOMA端末はFOMAカードを取り付けた状態で使用します。カードが取り付けられていないときは、まず、FOMAカードを取り付けてください。

- FOMAカードの取り付けや取り外しは、電源を切り、リアカバー、電池パックを取り外してから行ってください。
  リアカバー、電池パックの取り付け／取り外し☛P35
- FOMAカードの取り付けや取り外しは、FOMA端末を閉じた状態で、手に持って行ってください。

取り付けかた

❶FOMAカードケースのふたを矢印の方向にスライドさせる
ふたのロックが解除されます。

❷ふたを開く
❸FOMAカードを図の向きで、ふたの内側の溝に沿って突き当たるまで差し込む

❹FOMA カードケースのふたを閉じ、❶と逆方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせてロックする
- FOMA カードケースのふたがうまく閉じない場合は、FOMA カードの差込み位置を少し戻してください。

取り外しかた

❶FOMAカードケースのふたを開く
- 「取り付けかた」の❶～❷と同じです。

❷FOMAカードを引き抜く

おしらせ

- FOMA カードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとすると、FOMA カードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます。☛P128

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するための機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得すると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードが取り付けられていない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生、赤外線通信／iC通信やmicroSDメモリーカードへのコピー／移動はできません。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - ・ｉモードメールに添付されているファイル（トルカを除く）
  - ・デコメールや署名に挿入されている画像
  - ・ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - ・画像（アニメーション、Flash画像を含む）
  - ・マチキャラ
  - ・メロディ
  - ・Word／Excel／PowerPointのデータ
  - ・テレビ電話伝言メモ
  - ・動作制限となるデータが含まれたメールテンプレート
  - ・電話帳お預かりセンターからダウンロードした画像
  - ・画面メモ
  - ・メッセージR/F
  - ・コンテンツ移行対応のデータ
  - ・ｉモーション
  - ・キャラ電
  - ・着うた®／着うたフル®
  - ・PDFデータ
  - ・きせかえツール
  - ・動画メモ
  - ・トルカ（詳細）の画像

  「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているｉアプリは、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に、ｉアプリの削除と保護のみ行えます。

おしらせ

- FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。この場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、データの動作制限は解除され、設定は元の状態に戻ります（データをランダムイメージ設定に利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
- 赤外線通信／iC通信、microSDメモリーカード、ドコモケータイdatalinkを利用して入手したデータや内蔵のカメラで撮影した静止画や動画には、FOMAカード動作制限機能は設定されません。
- 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えた場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面でクリアを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。
- FOMAカードが取り付けられていない場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されません。

FOMAカードに保存される設定

以下の設定はFOMAカードに保存されます。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定が有効になります。

- 自局電話番号
- バイリンガル
- 証明書管理のドコモ証明書、ユーザ証明書
- FOMAカード（UIM）のPIN1コード、PIN2コード、PIN1コードON／OFF
- SMS設定（「送達通知」以外）

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色／白色）」とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

項　目	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P81
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P179
WORLD WINGサービスの利用	利用不可	利用可	P35
サービスダイヤル	利用不可	利用可	P372

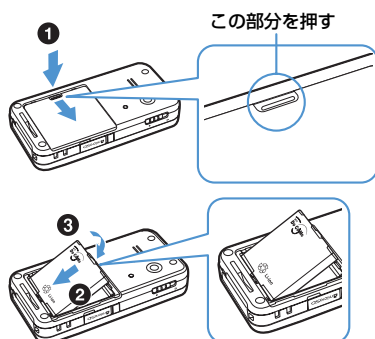
WORLD WINGについて

WORLD WING とは、FOMA カード（緑色／白色）をサービス対応の FOMA 端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電池パックの取り付け／取り外しは、必ず電源を切り、FOMA端末を閉じた状態で、手に持って行ってください。
- カメラに触れないように注意してください。
- 指定の電池パックD07をご使用ください。

取り付けかた

❶**リアカバーを外す**

リアカバーの先端を指で押しながら矢印の方向にスライドさせて外します。

❷**電池パックのドコモロゴ、リサイクルマークのある面を上にして、FOMA 端末と電池パックの端子が合うように図のような角度で差し込む**

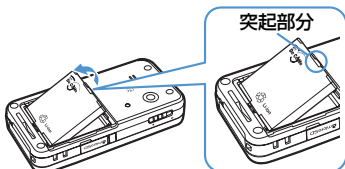
電池パックの端子を無理に差し込むと、本体のコネクタや電池パックの端子部を破損させる恐れがあります。ご注意ください。

❸**電池パックをはめ込む**

❹リアカバーをFOMA端末から約2mmずらして置く

❺FOMA 端末とリアカバーにすき間が生じないようにリアカバーの中央を指で押しながら、矢印の方向にスライドさせる

正しい手順で取り付けないと、リアカバーを破損させることがあります。

取り外しかた

❶リアカバーを外す

❷電池パックの突起部分に指などをかけて取り外す

おしらせ

- FOMA端末のディスプレイはアクティブ液晶を使用しています。アクティブ液晶の特性上、電池パックの取り付け／取り外しの際、残像や横縞がしばらく表示されることがありますが、故障ではありません。
- 電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定で自動時刻補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外すと日付・時刻が消去される場合があります。
- 電池パックを取り外すと、待受画面に設定した日付・時刻情報を必要とするｉアプリは、正しく動作しなくなる場合があります。その場合は、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。

携帯電話を充電する

電池残量が少なくなった場合は、充電してください。

・電池残量は、電池アイコンで確認します。☛P39

電池パックの寿命について

■ **電池パックは消耗品です**

充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。

■ **1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら**

電池パックの寿命が近づいています。早めの交換をお勧めします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。

■ **充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと**

電池パックの寿命が短くなることがあります。

■ **この製品に使用されているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です**

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

■ **リサイクルの際、以下のことにご注意ください**

・端子にテープなどを貼り、絶縁してください。
・分解、改造をしないでください。

充電について

FOMA端末の電源は、切ってからでも入れたままでも充電できます。ただし、電源を入れたままで充電した場合は、充電時間が長くなります。

■ 充電を開始すると

決定キーの照明が赤く点灯します。
電源を入れたままで充電を開始すると、充電確認音が鳴り、電池アイコンが点滅します。

状　態	電池アイコン（▮▮▮）	決定キーの照明	意　味
充電中	点滅	点灯（赤）	正常に充電しています。
充電完了	点灯	消灯	正常に充電完了しました。

- お買い上げ時の電池アイコンは、FOMA 端末の色によって異なります。また、きせかえツールで電池アイコンを変更していても、充電中は ▮▮▮ が表示されます。
- 充電を開始しても決定キーの照明が赤く点灯しなかった場合や、赤で点滅している場合は、正常に充電できていません。FOMA 端末の温度が上昇していると充電できない場合がありますので、使用している機能があれば終了し、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。再度充電を行っても正常に充電できない場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ 電源を入れたままで充電が完了すると

充電確認音が鳴り、電池アイコンが点灯状態になります。

■ 電池残量が十分にある場合は

ACアダプタやDCアダプタに接続しても充電しないことがあります。

■ 留意事項

- 充電しながら通話や通信、ｉモードやｉアプリの使用を長時間行うと充電時間が長くなったり、温度上昇により一時的に充電できなくなる場合もあります。
- 本体接続コネクタは、水平になるように抜き差ししてください。
- 本体接続コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないよう、ゆっくり確実に行ってください。また、本体接続コネクタを取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ると故障の原因となります。
- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA AC アダプタ 01 は AC100V のみに対応しています。また、FOMA AC アダプタ 02 は AC100Vから240Vまで対応しています。
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

電源を入れたまま長時間（1日以上）充電はおやめください

充電が完了してもFOMA端末の電源が入っていると、電池残量が減少します。このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再度充電を行いますが、再充電の途中でFOMA端末を取り外した場合は、次のような状態になることがあります。

- 電池残量が少ない
- 電池切れのメッセージが表示される
- 短時間しか使えない

充電時間・電池使用時間の目安

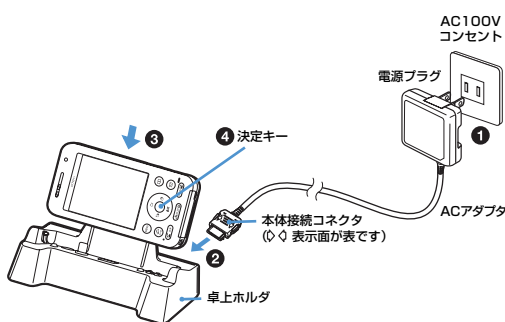
充電時間	連続通話時間※1	連続待受時間※2	ワンセグ視聴時間※5
約140分	音声電話時　約180分 テレビ電話時　約110分	静止時※3　約600時間 移動時※4　約420時間	エコノミーモード：約330分 ノーマルモード：約300分

※１：電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
※２：FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。
なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合など）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）･待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると通話（通信）･待受時間は短くなります。
※３：FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
※４：FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
※５：ステレオイヤホンをFOMA端末に接続して視聴したときの時間の目安です。

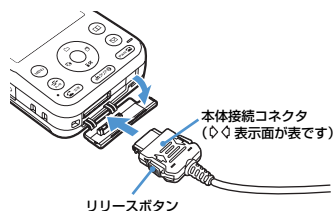
■ 留意事項

データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／ｉモーションの再生、音楽再生、ワンセグの視聴などによっても、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。

充電する

FOMA ACアダプタ01／02（別売）と卓上ホルダD14（別売）を組み合わせて充電できます。また、ACアダプタだけでも充電できます。
- 電池パック単体では充電できません。
- 詳しくは、ACアダプタと卓上ホルダの取扱説明書をご覧ください。

❶ACアダプタの電源プラグをAC 100Vコンセントに差し込む
❷卓上ホルダに本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む
❸卓上ホルダの背面に沿ってFOMA端末を図の向きで矢印❸の方向に差し込む
❹充電の開始を確認する
決定キーの照明が赤く点灯したことを確認してください。充電が完了したら、卓上ホルダを手で押さえながらFOMA端末を手前に傾け、卓上ホルダから取り出します。

- FOMA端末を卓上ホルダへ取り付ける際は、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- 差し込みが十分でなかったり、FOMA端末が傾いていたりすると、正常に充電できません。「カチッ」と音がするまでFOMA端末を押し込んでください。
- FOMA端末は図の向きで卓上ホルダに差し込んでください。向きを間違えると充電できません。
- 卓上ホルダの突起を押すと充電端子が飛び出します。充電しないときは突起を押さないでください。また、コンセントにつないだ状態で、手や指など、身体の一部を充電端子に触れさせないようにしてください。

ACアダプタだけで充電する場合

FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き、本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

- 充電が完了したら、本体接続コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜き、端子キャップを閉じます。
- FOMA端末を閉じた状態でも、開いた状態でも充電できます。

自動車の中で充電する

専用のFOMA DCアダプタ01／02（別売）を使用すると、自動車の中でも充電できます。マイナスアース車（12V車・24V車）で使用できます。

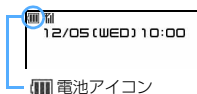
- 詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

おしらせ

- 自動車のエンジンを切った状態で充電すると、自動車のバッテリーを消耗させることがあります。必ずエンジンをかけた状態で充電してください。
- 充電しない場合は、DCアダプタはシガーライタソケットから取り外してください。
- DCアダプタのヒューズ(2A)は消耗品です。交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた

電池残量

ディスプレイに電池残量の目安が3段階で表示されます。

電池アイコン

(電池残量3)：十分残っています。
(電池残量2)：少なくなっています。
(電池残量1)：電池残量がほとんどありません。充電してください。

- お買い上げ時の電池アイコンは、FOMA端末の色によって異なります。

電池残量を音と表示で確認する

1 [MENU][8][6][7][5]

（電池残量3）

電池レベル表示

3回鳴ります

（電池残量2）

2回鳴ります

（電池残量1）

1回鳴ります

電池残量が表示されます。確認音がキー確認音の音で鳴ります。

電池が切れそうになると

電池残量がない旨のメッセージが表示されます。[●]、[クリア]、[☎]を押すとメッセージが消えますが、しばらくすると電池アラーム音が鳴り、再度メッセージが表示されます。このとき、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅し、約1分後に自動的に電源が切れます。充電を開始すれば電池アラーム音は止まります。すぐに止めたい場合は[☎]を押してください。

- 通話中のときは、受話口から電池アラーム音が鳴り、メッセージが表示されます。受話口から電池アラーム音が聞こえてから約20秒後に通話が切れ、その約1分後に自動的に電源が切れます。

電池アラーム音が鳴らないようにする 電池アラーム音

お買い上げ時 ON

1 MENU 8 1 1 6 5 ▶ 1～2

おしらせ

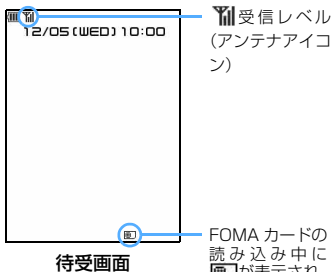
- 通話中に電池が切れそうになると、「OFF」に設定していても、受話口から電池アラーム音が鳴ります。

電源を入れる／切る 電源ON／OFF

- 初めて電源を入れると、ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面が表示されます。☛P419

電源を入れる

1 ☎（2秒以上）

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。ウェイクアップ画面の表示まで多少時間がかかります。

待受画面

受信レベル表示					圏外
状態	強 ⟷ 弱				サービスエリア外や電波の届かない所

- お買い上げ時のアンテナアイコンは、FOMA端末の色によって異なります。
- 日付･時刻が設定されていないときは、その旨のメッセージが表示されます。時刻情報を受信し自動時刻補正されると消えます。手動で日付・時刻を設定する場合は、 を押します。
- FOMAカードが取り付けられていない場合、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを取り付けてから電源を入れ直してください。

電源を切る

1 ☎（2秒以上）

おしらせ

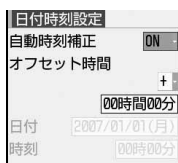
- FOMAカードを差し替えたとき（おまかせロック中を除く）は、電源を入れた後で4～8桁の端末暗証番号の入力が必要です。正しく入力すると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を5回入力した場合は電源が切れます（ただし、再度電源を入れることは可能です）。
- 電源を入れたときに設定によりPIN1／PIN2コードの入力画面が表示されます（☛P128、P349）。PIN1コード、PIN2コードを入力してください。
- 照明設定の点灯時間設定の通常時を「常時」以外に設定している場合、約90秒間何も操作せずにいると、ディスプレイの表示が消えます。☛P114

日付・時刻を合わせる

日付時刻設定

時刻設定には、ドコモのネットワークからの時刻情報をもとにFOMA端末の時刻を補正する方法と、自分で時刻を入力する方法があります。

お買い上げ時 自動時刻補正：ON　オフセット時間：+、00時間00分

1 MENU 8 6 1 1 ▶ **各項目を設定** ▶ 📖

- 自動時刻補正を「ON」にした場合、オフセット時間を設定できます。自分で日付・時刻を設定する場合は、自動時刻補正を「OFF」にしてください。

自動時刻補正：自動で時刻の補正を行うかどうかを設定します。

オフセット時間：時計を常に一定時間進めておきたいときなどに、取得した時刻より進める（＋）／遅らせる（－）時間を設定します。

日付、時刻：日付、時刻を入力します。
- 2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。

- 数字は🔘でも増減できます。🔘で変更する数字を選んでからも入力できます。

自動時刻補正を設定したとき

FOMAカードを取り付けた状態で、電波の届く場所で電源を入れたときなどに自動的に補正されます。
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況によっては時刻を補正できない場合があります。
- ｉアプリによっては、ｉアプリ動作中に時刻情報を受信しても補正できない場合があります。
- 自動時刻補正を「ON」にしたとき、しばらく時刻が補正されない場合があります。自動時刻補正を有効にするには、電源を入れ直してください。
- FOMAカードを取り付けていないときや、圏外にいるときは、電源を入れ直すなどしても補正は行われません。

おしらせ

- 日付・時刻を設定していないときは、次の機能は利用できません。
  - 自動電源ON／OFF設定
  - 目覚まし
  - ワンセグ視聴
  - ｉアプリの自動起動機能
  - ｉアプリDX
  - テレビリンク
  - ソフトウェア更新
  - パターンデータ更新
  - 視聴予約スケジュール
  - スケジュール帳（データ送受信やスケジュールデータの表示含む）
  - マチキャラ
  - 再生制限が設定されているｉモーションの取得、再生
  - 日付・時刻を利用するFlash画像
  - ランダムイメージ設定（「スライドオープン」切替以外）
  - 著作権保護により再生制限が設定されている着うたフル®のダウンロード／WMAファイルの再生
- 日付・時刻を設定していないときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」「----------------」などと表示されます。さらに区別のための枝番が付くこともあります。
  - リダイヤル／着信履歴
  - 伝言メモ／音声メモ
  - カメラで撮影した静止画／動画の日時
  - メモ帳
  - 送信メール／未送信メールの日時
  - メール送信履歴
  - サウンドレコーダーで録音した音声の日時
  - 通話時間／通話料金の前回リセット日時
  - バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名の日時
  - ｉアプリ（詳細情報）のダウンロード日時
  - トルカの受信日時
  - ダウンロードしたデータやファイルの保存日時
  - 作成したメールテンプレートのファイル名（保存日時）

● 自動時刻補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。その場合は、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。

相手に自分の電話番号を通知する　発信者番号通知

電話をかけたとき、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 MENU 8 7 4 1 1

- 設定内容を確認する：MENU 8 7 4 1 2 ▶「はい」

2 **ネットワーク暗証番号を入力▶ 1**

- 通知しない：2

おしらせ

● 発信者番号を通知／非通知にする方法は複数あります。複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。
①発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合☛P54
②相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けた場合☛P53
③電話帳データに発番号設定をした場合☛P91
④発信者番号通知を設定した場合

● 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからかけ直してください。

Menu 48

自分の電話番号を確認する　自局番号

自分の電話番号（自局電話番号）や名前、メールアドレスなどを確認します。

お買い上げ時　自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録

1 MENU 0

- ｉモードのメールアドレスを設定・確認するには☛P186

■ **通話中に自分の電話番号を確認する：** ✉ 0